

civien の配布や募金箱の設置にご協力を。

一人ひとりがより自分らしく生きていく地域社会を市民活動がつくるには、活動資金が必要です。その資金源として市民の寄付は重要。市民活動を支えるため、一緒に寄付文化を定着させていきませんか。

当財団では、当季刊情報誌civienの配布や募金箱の設置のご協力者を募っています。店頭をはじめ例会や理事会等でのcivienの無料配布、クリニックの待合室やオフィス、店舗での募金箱設置等、お気軽に下記までご連絡ください。

* 現在の設置場所は、HPで掲載しています。

寄付のお話、募集中。

「寄付をしたいけれど、どの団体にいつ寄付をすればいいのかわからない」という方に向けて、civienでは寄付の実話をご紹介します。当財団でも寄付のエピソードを収集していますが、調べきれていないのが現状です。

そこで、みなさまにお願いです。寄付をした方、寄付を頂いた団体の方々、とおきおきの寄付のお話を、聞かせてください。実例を伝えることで、寄付文化の定着につながります。

みなさまからのあたたかい情報を、心よりお待ちしております。

寄付者の本音インタビュー

～市民が主体的に活動する社会へ～

本来、市民が主体的に地域をつくり社会をつくっていくものです。でも継続性や波及効果などの点から、市民が行政に委託している仕組みになっています。

今はその立場が逆転しているように思います。今こそ、市民は社会のために自由に活動できるという意識に立ち戻って、より良い社会をつくるために自ら動くことが大事です。実際、行政ではできないこと、市民じゃないとできないことが多いのです。

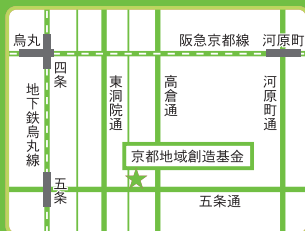
そもそも自分や誰かのために何かを

する場が、社会です。自身のためにしたことが他の人に影響を与え、同じ課題認識を持っている人たちとのつながりにもなります。

既に課題が認識されていることに取り組むのが、行政や自治体。小さな課題を解決するのが、市民活動団体。小さな課題を解決することで、本当に豊かな社会になります。ただ、小さな課題のためのお金は行政では出せないで、市民活動団体への寄付がもっと増えてほしいと思います。

京都地域創造基金へのご寄付は、税制優遇の対象です。

* 平成23年度税制改正により、一部の公益法人等に対する寄付の税制優遇措置が拡充されました。



公益財団法人 京都地域創造基金

〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143 いづつビル3階

●電話：075-354-8792 ●FAX：075-354-8794

●E-mail：office@plus-social.jp

●URL：http://plus-social.jp

●Office Hour：平日午前10時～午後7時（土日祝、夏期休暇、年末年始は休業）

発行者：深尾 昌峰

編集責任者：戸田 幸典

編集スタッフ：原 芙佑子

デザイン：株式会社エーゲル

civien